

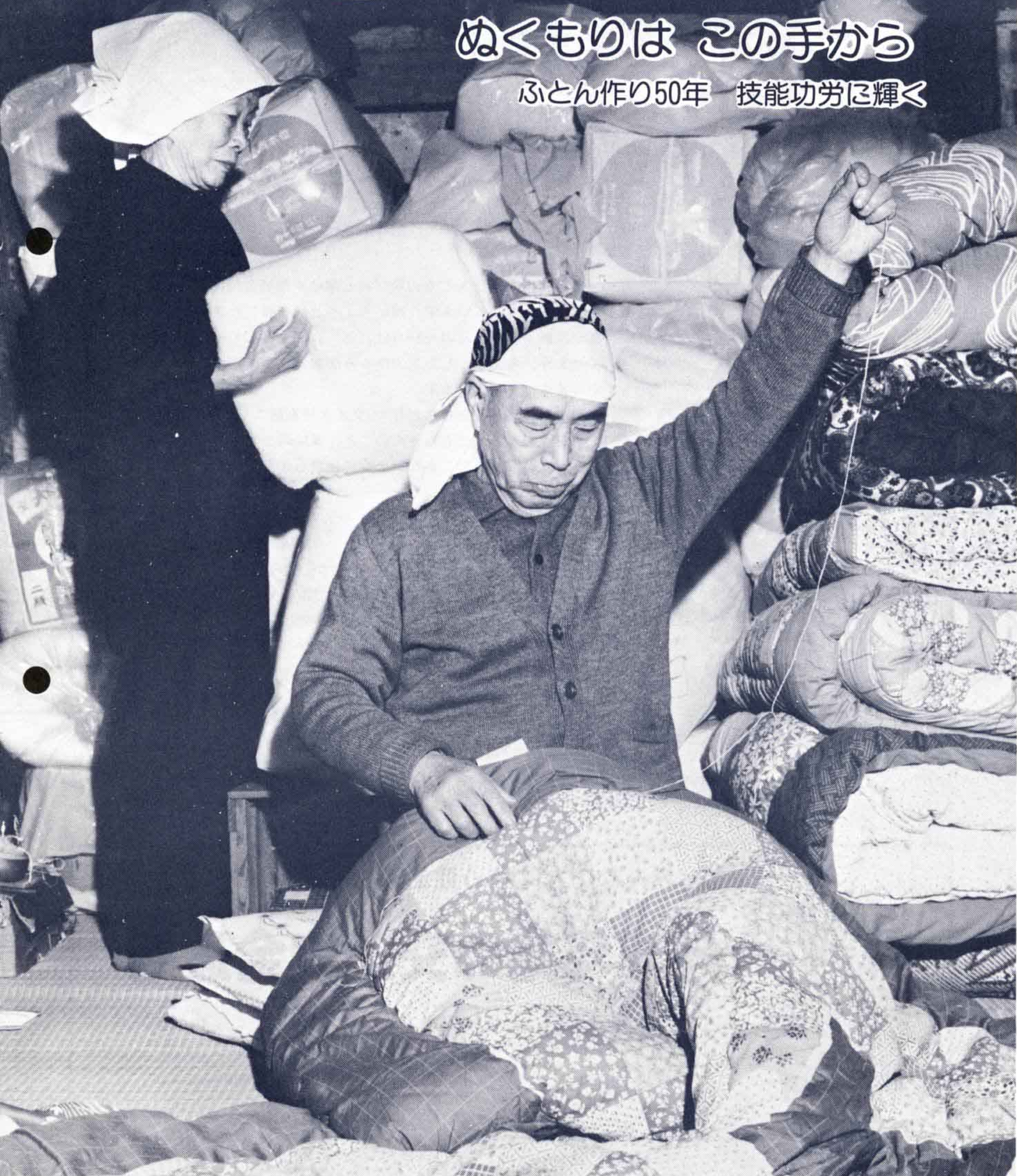
広報 **ふじ**

56.11.25

No.331

ぬくもりは この手から

ふとん作り50年 技能功労に輝く



交通事故特集



激増する人身事故

幼児の飛び出しと飲酒運転

最近、市内で、子どもの飛び出し事故や飲酒運転による事故が、相次いで発生しています。親がちょっと目を離れたスキに子どもが事故にあう。『ほんの一杯だけ、と、お酒を飲んでハンドルを握ってしまう。ちょっとした気のゆるみが大きな事故につながり、尊い命さえ奪ってしまいます。

年末は、何かとあわただしく、交通事故を起こしやすくなります。車を運転する人はもちろんのこと、家族同士でもお互いに声をかけあい、交通事故を起こさないように注意しましょう。

2ヵ月間で5人が死亡

富士警察署では、最近の事故の特徴として、昨年に比べて人身事故が激増している——と話しています。

今年の1月から10月末日までで、市内の交通事故死亡者は、すでに昨年と同じ19人にもなっています。

この中で、特に目立つのは、子どもの飛び出しと酒気帯び運転による死亡事故です。

9月と10月の2ヵ月間に、次のような死亡事故が発生しています。

▷ 9月1日、午前0時ころ、松岡の国道一号線交差点で、19歳の少年が、酒気帯びとスピードの出しすぎで衝突事故を起こし、同乗の女学生が死亡。

▷ 9月16日、午前10時20分ころ、元町の交差点で、2歳の幼児が飛び出し、普通貨物自動車にはねられて死亡。

▷ 9月26日、午後11時55分ころ、久沢の鷹岡検量所付近で、19歳の少年が酒気帯びとスピードの出しすぎで、左カーブを曲がりきれず対向車

みんなでなくそう飲酒運転

年末年始の交通安全運動

12月11日 ~ 57年1月10日



県下統一の主な行事

- 12月11日(金) 街頭広報の日
- // 15日(火) シートベルト・ヘルメット着用街頭指導の日
- // 18日(金) 飲酒運転絶滅の日
- // 22日(火) 二輪車・自転車街頭指導の日

線に出て、対向車と正面衝突。

対向車を運転していた26歳の男性が死亡。

▷10月7日、午前8時26分ころ、勢子辻吉原線駿河台で、4歳の幼児が登園途中に、母親の手から離れたとたん、普通乗用車にはねられて死亡。

▷10月30日、午後3時24分ころ、松岡の市道で、下校途中の小学生が、20歳の少年の無免許運転によるスピードの出しすぎで、はねられ死亡。

幼児には身をもって 交通ルールを

このように、わずか2ヵ月間に幼児の死亡事故と酒気帯び運転による死亡事故が相次いで発生しています。

事故の原因としては、「母親が目を離れたスキに」「ほんの軽い気持で飲んで運転した」などです。

幼児の事故防止について、富士警察署では、次のように話しています。

幼児の事故は、親がちょっと気をぬいたスキに起きています。幼い子どもには、親が身をもって交通ルールを覚えさせることが大切です。

子どもの交通安全教育については、リスさんクラブや学校、幼稚園などでも行っていますが、やはり家庭でも日常の教育が必要です。

子どもに対して、「飛び出しは絶対にしない」ことを教え込んでほしいと思います。それから車を運転する人も、狭い道路では、いつ子どもが飛び出してくるかわかりませんので、そのことを十分に頭へ入れて運転してほしいですと。

一日平均3.2件の人身事故

次に、右の〈表I〉をご覧ください。これは、昭和50年から55年までに市内で発生した、交通事故による死亡者の推移です。

52年が32人で一番多く、次に50年が28人、53年が23人の順となっています。事故件数と傷者が一番多かったのは51年で、事故件数が1,172件、傷者が1,429人でした。

54年は、死者が17人と一番少なくなっていますが、55年は死者が19人で、事故件数、傷者ともに増加しています。

今年度は、10月末日現在で、人身事故が975件、傷者が1,207人と昨年を大きく上回っています。

これを、一日平均にすると、人身事故が3.2件、傷者が、4.0人になります。

事故発生時間帯をみると、朝7時から8時までと、夕方5時から6時までの、朝・夕のラッシュ時が圧倒的に多くなっています。

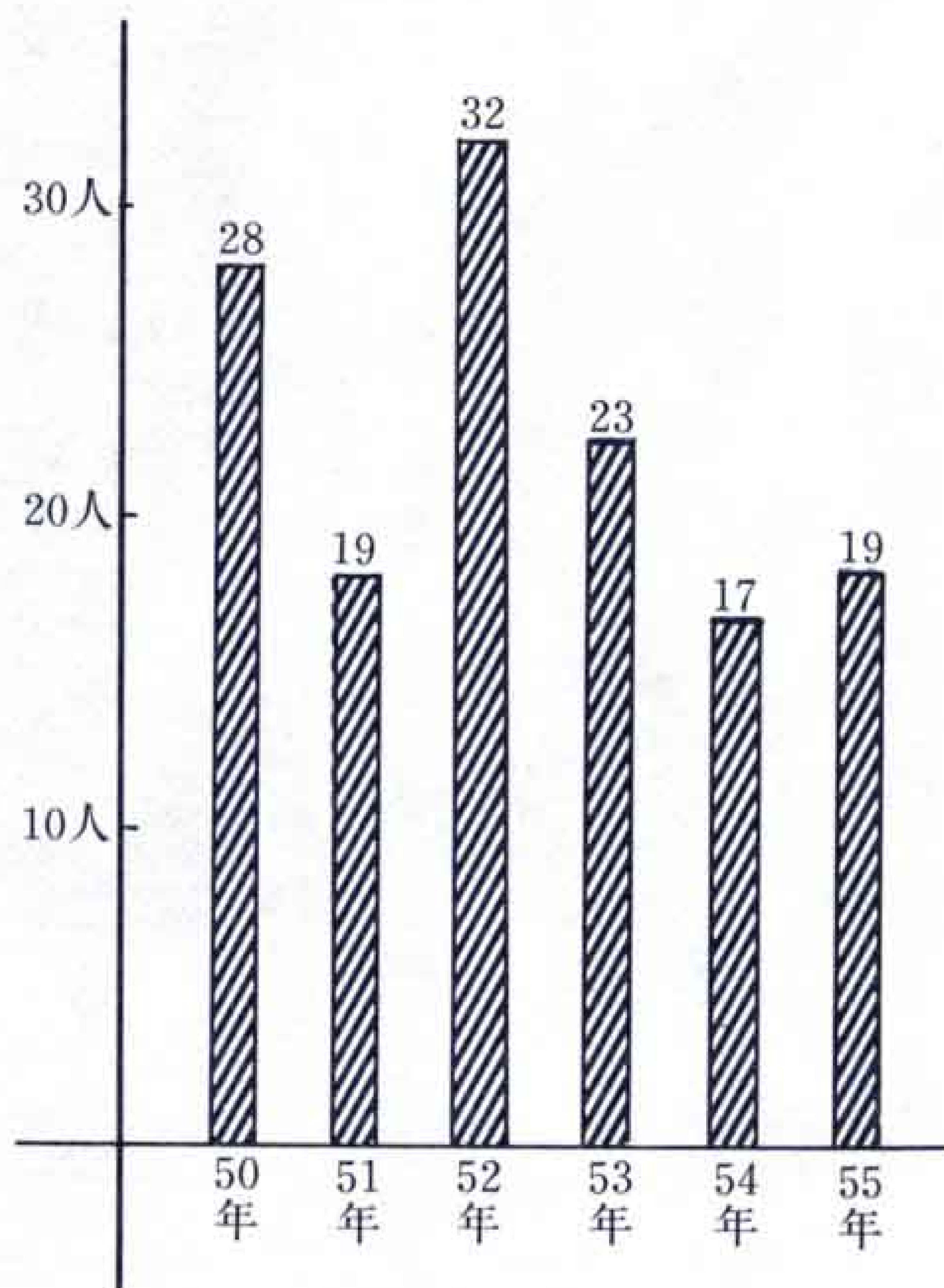
事故の内容をみると、追突事故、出合頭事故、右左折事故の3つの類型で全体の58%を占めています。

中・高生に多い自転車事故

今年の事故で年代別〈表II〉と状態別の内訳をみると、幼児・園児・小学生は、当然のことながら歩行中の事故が多く、中学生・高校生になると、自転車の事故が急激に増えています。

青壮年は、自動車運転中と同乗中の

〈表I〉 最近の死亡事故の推移



〈表II〉 昭和56年の事故年代別

年代別	状態別	発生状況		
		件	死	傷
1	幼児	31	1	30
2	園児	50	1	50
3	小学生	73	1	72
4	中学生	38	0	37
5	高校生	54	2	53
6	その他青壮年	943	8	891
7	老人	104	6	74
	計	1,293	19	1,207

毎月一回、第三土曜日の午後、四十分位、定例会を行っています。定例会では、毎回「必ず止まって、右・左・右」の三本指の約束を行います。それから交通安全体操なども……。

リスさんクラブに入っているの、子どもの交通安全については特に気をつけています。

子どもに交通ルールを知らせるには、やはり親がお手本を見せることが大切です。



大野町リスさん
クラブリーダー
中村はるみさん(33歳)

交通ルールは
まず親が手本を

増える飲酒運転

飲むなら乗るな

乗るなら飲むな——の徹底を

まず、下の〈表Ⅲ〉をご覧ください。今年は、昨年に比べ、無免許事故と飲酒運転事故が約倍近く増えています。市内では、飲酒運転による死亡事故も相次いで発生しています。

“お酒を飲んで車を運転してはならない。ことは、誰でも知っているはずですが。

しかし、「あまり酔っていないから」とつい車を運転してしまう。これが大きな事故に結びつきます。

道路交通法では、酒気帯

び運転は3ヵ月以下の懲役または、3万円以下の罰金に科せられるとともに、違反点数は6点で運転免許証は停止されます。

また、酒酔い運転の場合は、2年

以下の懲役または、5万円以下の罰金に科せられ、違反点数は15点で運転免許証は取り消されます。

飲酒運転で罰せられるのは、ドライバーだけではなく。

これから車に乗ろうとする人に酒を提供したり、勧めたりすることも禁じられています。

年末になると、忘年会や仕事の帰りなどで、お酒を飲む機会が多くなりますが、同時に飲酒運転による交通事故も増えます。

「ほんの一杯だけ」が命とりになりかねません。

富士警察署では、ドライバーに対して、「飲むなら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則を自覚してほしいことと、家族やまわりの人たちにもこれを守ってほしい——と強く呼びかけています。



【横断歩道は手をあげて】

事故が圧倒的に多くなっていますが、原付車運転中の事故も増えています。

老人になると、歩行中・原付車運転中、自転車乗車中など、いずれも平均しています。

次に、死亡者19人の事故別状態をみると、一番多いのが原付・自動二輪運転者の7人、次に歩行者の5人、自転車運転者の3人となっています。

原付・自動二輪車と自転車で、死亡者の約半数以上を占めているので、十分な注意が必要です。

さらに、今年を事故を道路別の構成率でみると、市道が58%、国道1号線と県道がそれぞれ13%の割合で発生しています。

〈表Ⅲ〉昭和56年の特殊事故（1月～10月）

事故別	昭和56年			昭和55年		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
無免許事故	22	0	26	14	3	13
飲酒運転	72	4	93	40	4	42
バス	5	0	12	2	0	3
二輪車	106	2	119	106	2	119
原付車	212	5	204	193	0	197
踏切	2	0	3	1	1	0

富士駅北口広場横断歩道橋に

青年ブロンズ像が完成



富士市の表口玄関として、整備されている富士駅北口広場横断歩道橋に、青年ブロンズ像が完成しました。

このブロンズ像は、伸びゆく産業文化都市を象徴しており、男性像が「飛躍」、女性像が「黎明」を表わしています。

「飛躍」は、限らない産業文化都市の飛躍発展を、「黎明」は、「夢とロマン」につつまれた市民文化の夜明けを意味しています。像の高さは、男性像が二メートル、女性像が一メートル四十センチ。

制作者は、賀茂郡松崎町に住む彫刻家、松田裕康さんです。

市民の皆さんも、この像を新しい心のやすらぎの場として、いつまでも大切に目守ってほしいと思います。



親子で語らいを

◎みどり豊かな潤いのあるまちづくりとしては、「都市公園をはじめとする緑とオープンスペースは、潤いのある街づくりの要である」として、その積極的な整備を望んでいます。

具体的には、都市緑化の推進と公園、緑地の整備拡充をあげています。

都市緑化の中では、家庭緑化、公共施設等の緑化、工場緑化、街路緑化などをすすめる上で、市民・企業・行政が行うことを明確に示しています。

公園の整備拡充については、これからの公園づくりは、地域の特性や多角的な活用を考えながら建設することが大切である—としています。

◎清潔できれいなまちづくりとしては、美化活動と美化意識の醸成をあげています。

家庭から周辺の道路、側溝、河川などの環境美化活動は、市民の誰もが身近な問題から取り組み、1人ひとりが心と体で実践し、その輪を広げていくことが大切—としています。

◎環境美化運動の推進としては、組織づくりと新しいまちづくりの目標設定をあげています。

組織づくりにあたっては、この運動を円滑かつ効率的に実施するため、推進組織と実践組織とに区分して、組織化することが考えられる—としています。

同懇談会は最後に、目標を実現するには、市民・企業・行政が一体となって、地道な努力を重ねるよう強く要望しています。

3本の柱で構成

今年の2月発足した、「富士市をきれいにする市民懇談会」は、市民と行政が、富士市をきれいにするためには、何をしたらよいか—を渡辺市長に、このほど提言しました。

同懇談会は、市内の各種団体と知識、経験者ら34人で構成し、これまで、10数回にわたり論議を重ねてきました。

提言は、「みどり豊かで清潔な住みよい富士市」とし、この目標を達成するために、大きく3項目に分けてあります。

まず第一に「みどり豊かな潤いのあるまちづくり」、第二に「清潔できれいなまちづくり」、第三に「環境美化運動の推進」としています。

市民・行政が一体で

この3項目の主な点を紹介すると次のとおりです。

住みよい美しい街づくりには

市民懇談会が提言

ちびっ子の夢をのせて S L公園が完成



子どもたちの夢を乗せて走る、ミニSLが登場。市内中央町一丁目、新通町公園（富士警察署北側）に、ミニSL公園が完成しました。

これは、富士吉原ライオンズクラブが二十周年記念行事として、建設したものです。

ミニSL鉄道は、蒸気機関車C57型を八分の一に縮小したもので、レールの長さが百六十三メートル、乗車定員二十五名です。園内には、プラットフォーム、鉄橋、踏切、藤トンネルなどがあります。

鉄道の運転時間は、毎月第一・第三日曜日の午前十時から午後二時までです。ただし、正午から午後一時までは休止します。なお、雨天の場合は休みです。

ミニSLに乗りたいちびっ子は、乗車日に直接公園へお出かけください。



(きれいだネー、お母さんのお花、先生が生けたのかしら)

みんなで築く郷土の文化

総合文化祭開かれる

みんなでできずく郷土の文化をテーマに「第15回富士市総合文化祭」が10月31日から11月23日まで七会場で華やかに開かれました。

市教育委員会と市文化連盟が開いたもので、会場の一つ、吉原市民会館では13日から15日までの3日間、美術、写真、盆栽、華道などを展示。

このほか、茶道や邦楽、舞踊、詩吟の発表が行われました。



(見事なお点前 結構です)



びわ
(琵琶の音もさえて……)



公園・空地の雑草 刈り取りに思う

富士市へ転入してきて一年八ヶ月。各町内に子どもたちがつどえる緑の公園があるこの街を、何とすばらしい市民中心の街だろう！と思いました。

ところが、この街に居住してまず感じたことは、市民の「無気力さ」だった。せっかく市でつくってくれた緑の公園を誰一人として清掃する人がいないことです。

つい先日、一日三時間、五日間をかけて、我が家の近くの土手の雑草刈り取りを行いました。結局全体の五分の三ほどしか手がけられませんでした。

二メートル余りにも伸びきった雑草の間からサツキ(市で植えた)が、現われたときには「まあ、お前こんな日当りの悪い所へ長い間……」と思わず胸を熱くしたものでした。

そして何より腹立たしく思ったことは、自分たちの財産を自分たちで守り得ぬ、私たち市民の不甲斐なさでした。

このようなことの解消のために、職員的身をもった行動が必要なきだと思っので次のことを提言します。

- 一、半年に一度、市側で市内の公園などの一斉清掃、雑草刈り取りを行う。
- 二、二ヶ月に一度、各町内で一斉清掃、刈り取りを行う。

(一市民)



(サーサー いくら、その奥さん番号札が反対だよ)



(椎の木を記念植樹)



(今夜はお父さんと魚で一杯ヨ)

二万人余の市民で

賑わった市場祭

農業祭

恒例の市場祭・農業祭が、11月15日富士市公設地方卸売市場で開かれました。年に一度、市民のみなさんに市場施設を開放して生鮮食料品の流通現場を見ていただくとう開いたものです。青果物、水産物、関連食品が飛ぶように売れ、この日、一番の呼び物、農業祭出品物のセリ市では慣れぬ手つきで、参加者がわれ先にと手を挙げハッスルしていました。

グループ訪問 ④8



市文化祭の出場にむけて
練習にはげむ団員

人数の割にはいいハーモニード。団員のほとんどが、若い頃コーラスをやっていたからだろうか。それとも指導（辻村典枝さん）の成果なのか。
練習場の元吉原公民館の窓の外には、松林が揺れている。「松風」の名が生れたのもうなずける。青春のノスタルジアをかき立てる曲目が多いようだ。
「写真に声が写らないのが残念ねエー。」美しく歳を重ねたいと願う婦人の集団。

(7)



プロフィール
昭和48年9月発足。団員15人。持曲40曲。練習は月2回午前中。リーダーは山口美沙子さん
連絡先は元吉原公民館。

松風コーラス



市役所 ☎51-0123



大事な一票です 忘れずに

中、あるいは道路等で、たまたま知人等に会った時にその機会を利用して投票依頼することができます。

やってはいけない選挙運動

◇戸別訪問…選挙に関し、投票依頼を目的に家の中はもちろん、庭先や事務所、勤務先等を訪ねることはできません。

◇署名運動…投票依頼を目的に有権者から署名を集めることはできません。

◇文書等の回覧…選挙運動のために文書やピラ等を回覧板等で各家庭に回覧することは違反です。なお選挙運動に関する文書やピラ等は法律によりきめられているもの以外は禁止されています。

◇飲食物の提供…選挙運動に関し、いかなる名義であっても飲食物を提供することは違反です。(ただし、選挙事務所における湯茶と通常用いられる程度の菓子はよい。)また、陣中見舞として飲食物を持って行くことも禁止されています。



市長・市議補欠選挙は12月20日

市長選挙及び市議会議員補欠選挙は、12月20日に行われます。市政を託す人を選ぶ大事な選挙です。忘れずに投票しましょう。

◇投票のできる人 今回の選挙は、次の要件を備えた人が選挙人名簿に登録されます。

- ・年齢 昭和36年12月21日以前に生まれた人。
- ・住所 昭和56年9月8日以前に住居基本台帳に登録され、12月20日現在引き続いて市内に住所のある人。

違反のない きれいな選挙をするために

選挙運動することができる期間

立候補届出した時から投票日前日までです。

誰にでもできる選挙運動

◇電話依頼…電話を利用して選挙運

動をすることはさしつかえありません。従って電話で友人や知人に支持している候補者への投票依頼ができます。

◇個々面接…戸別訪問は禁止されていますが、デパート、電車、バスの

よい人を えらぶ目 見抜く目 たしかな目



小学校の部市長賞を受けた 榊野さんのポスター

昭和56年度 市長賞に榊野さん 鈴木さん

防火ポスターコンクールの入賞者が、次のとおり決まりました。

応募点数は、小・中・高校あわせて299点。中学校の部の鈴木さんと加藤さんの作品は、秋と春の火災予防運動のポスターとして使われます。

◇小学校の部

- ・市長賞 榊野紀子 (田子浦小)
- ・議長賞 望月陽子 (富士第一小)

- ・教育長賞 遠藤五早枝 (広見小)
- ・消防長賞 高田義久 (吉原小)
- ・協会長賞 加藤祐子 (富士第二小)

◇中学校の部

- ・市長賞 鈴木久子 (元吉原中)
- ・議長賞 加藤千鶴 (岩松中)
- ・教育長賞 佐野典巳 (元吉原中)
- ・消防長賞 才田訓子 (元吉原中)
- ・協会長賞 小林 基 (岳陽中)

暮らしのたより



青少年健全育成強調月間

青少年が、すこやかに社会連帯の意識を高めながら健全な生活をすごすよう、地域ぐるみで青少年の健全育成をはかることが重要です。

そこで市は、関係機関と協力して各種の青少年健全育成冬季対策を実施します。

◇期間 12月10日～57年1月9日

◇重点目標

- ・明るい家庭づくりと住みよい地域づくり運動の推進。
- ・青少年の社会参加実践活動を積極的に推進。
- ・青少年の事故や非行の防止と良好な環境づくりの推進。

神戸地区で郷土誌を発刊

神戸地区社会教育推進会は、郷土誌「ふるさと」を来年2月下旬に発刊します。

◇予約受付期間 12月末日まで

◇単価 1,500円位(B5判 350頁)

◇申込み先 神戸公民館 ☎21-2203

潤井川山橋の架替工事

10月25日発行の「広報ふじ」で、山橋の架替工事についてお知らせしま

第33回人権週間

みなさん、ことしも人権週間が近づいてまいりました。

この週間中、人権擁護機関は人権啓発活動の内容を更に充実拡大し、広く国民に人権意識の高揚を呼びかけることとしています。

◇人権週間 12月4日～10日

◇強調事項

- ・互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう。
- ・婦人の地位を高めよう。
- ・障害者の完全参加と平等を実現しよう。

熊にご注意を



沼津営林署は、愛鷹山国有林内で熊が出るので入山者は十分注意するよう呼びかけています。

したが次のとおり変更されました。

- ・期間 12月8日～来年8月31日
- ・交通規制 大型車輛(4トン以上)のみ全面通行止めとなります。

高齢者事業団

相談日を開設

定年退職をされた方で、健康でまだまだ働く意欲のある方が、毎日家にも退屈で仕方がない。雇用関係を結んでの仕事は望まないが、補助的、短期的な仕事なら、自分の能力を活用してみたい。という高齢者の方が市内には多勢いると思います。

これ等の高齢者の方のご相談に応じるため、高齢者事業団富士市シル

バー人材センターでは相談日を設けました。

お気軽にご利用ください。

◇相談日 毎週水曜日 9:00～15:00

(水曜日が祭日のときは木曜日)

◇ところ 吉原本町(職業安定所前) 高齢者事業団富士市シルバー人材センター ☎53-1150



秋の叙勲、栄えある表彰

昭和56年度秋の生存者叙勲が、11月3日の文化の日に発表され、市内では次の3人が受章されました。

勲五等瑞宝章

遠藤長太郎さん
(八十歳 中央町)
県木材協同組合
連合会理事



遠藤さんは、60年有余の長い間、木材業界の発展と素材製材業者の従業員災害防止に多大な貢献をされました。この間、田子浦港木材協同組合副理事長、町内会長、富士信用金庫理事など要職を歴任されました。

勲六等単光旭日章

大石銀作さん
(七十九歳 松岡)
元国鉄東神奈川
車掌区長



大石さんは、大正7年御殿場線山北駅の信号掛を拝命以来、39年有余の長い間、国鉄の営業、運転、通信、教育に従事し、この間、沼津駅助役、有楽町駅長などをつとめ鉄道の発展に多大な貢献をされました。

勲六等単光旭日章

飯田宙一さん
(六十七歳 鈴川)
元蒲原警察署
富士川派出所長



飯田さんは、昭和11年清水警察署巡査を拝命以来、35年有余の長い間、足跡や指紋を割り出す鑑識畑ひとすじにつとめ科学捜査に多大の貢献をされました。この間、警察庁長官賞など多くの賞を受けられました。



社会福祉センター

市内に住む60歳以上のお年寄りや、体の不自由な人、母子家庭の人たちの憩いの場として、広見荘が昭和47年9月に、田子浦荘が昭和55年3月に開所しました。

両荘とも、大広間、会議室、大浴場、和室、機能訓練室、あんま器のある機能回復コーナーなどがあります。

特に、静電気を利用したヘルストロンは、血行をよくし、動脈硬化の防止などに効果があるので人気が高く、順番を待つお年寄があとをたちません。

この施設の使用料はすべて無料です。

◦開館時間は

●冬時間（11月1日から3月31日）

午前9時から午後4時まで

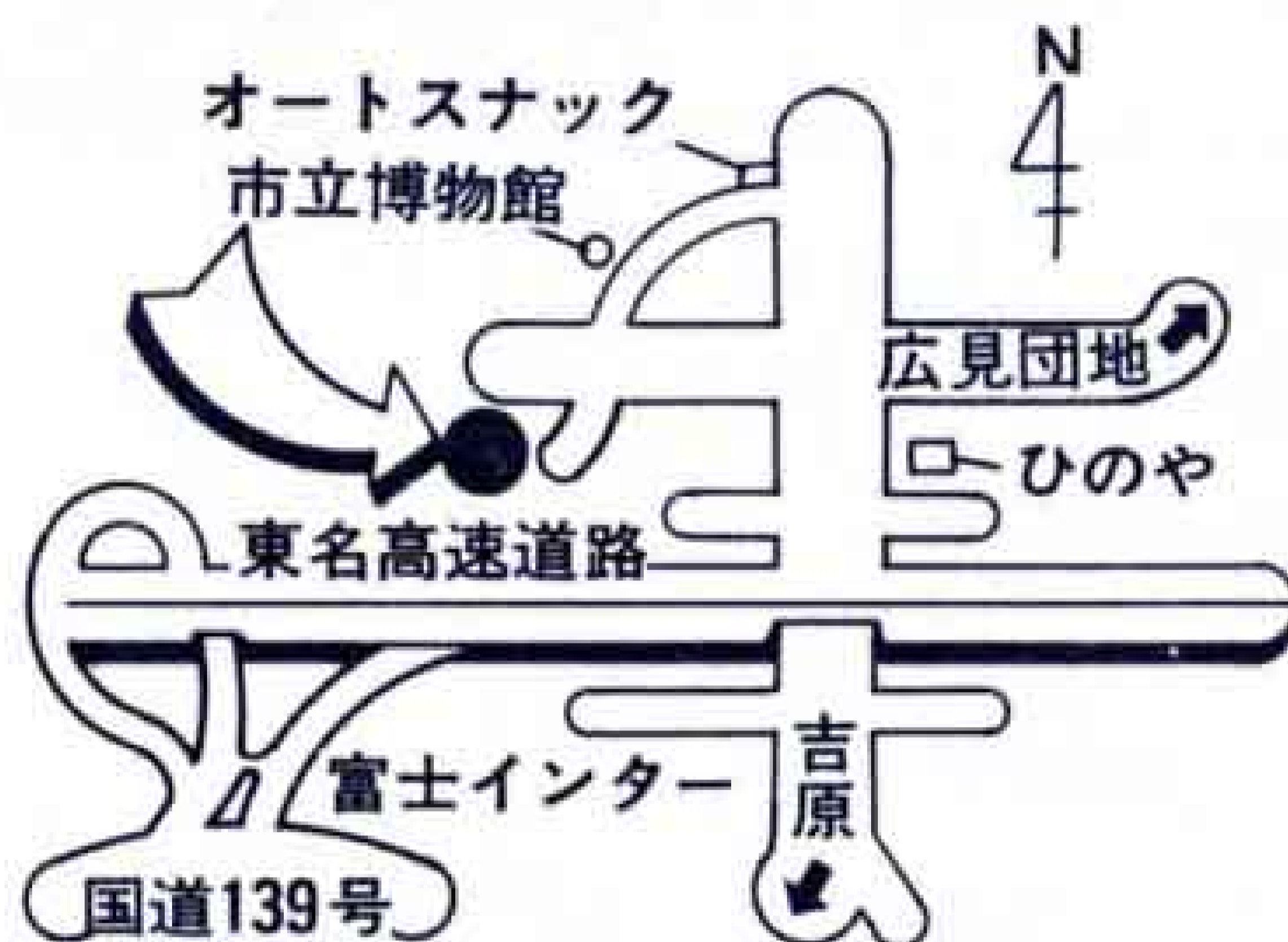
●夏時間（4月1日から10月31日）

午前9時から午後4時30分まで

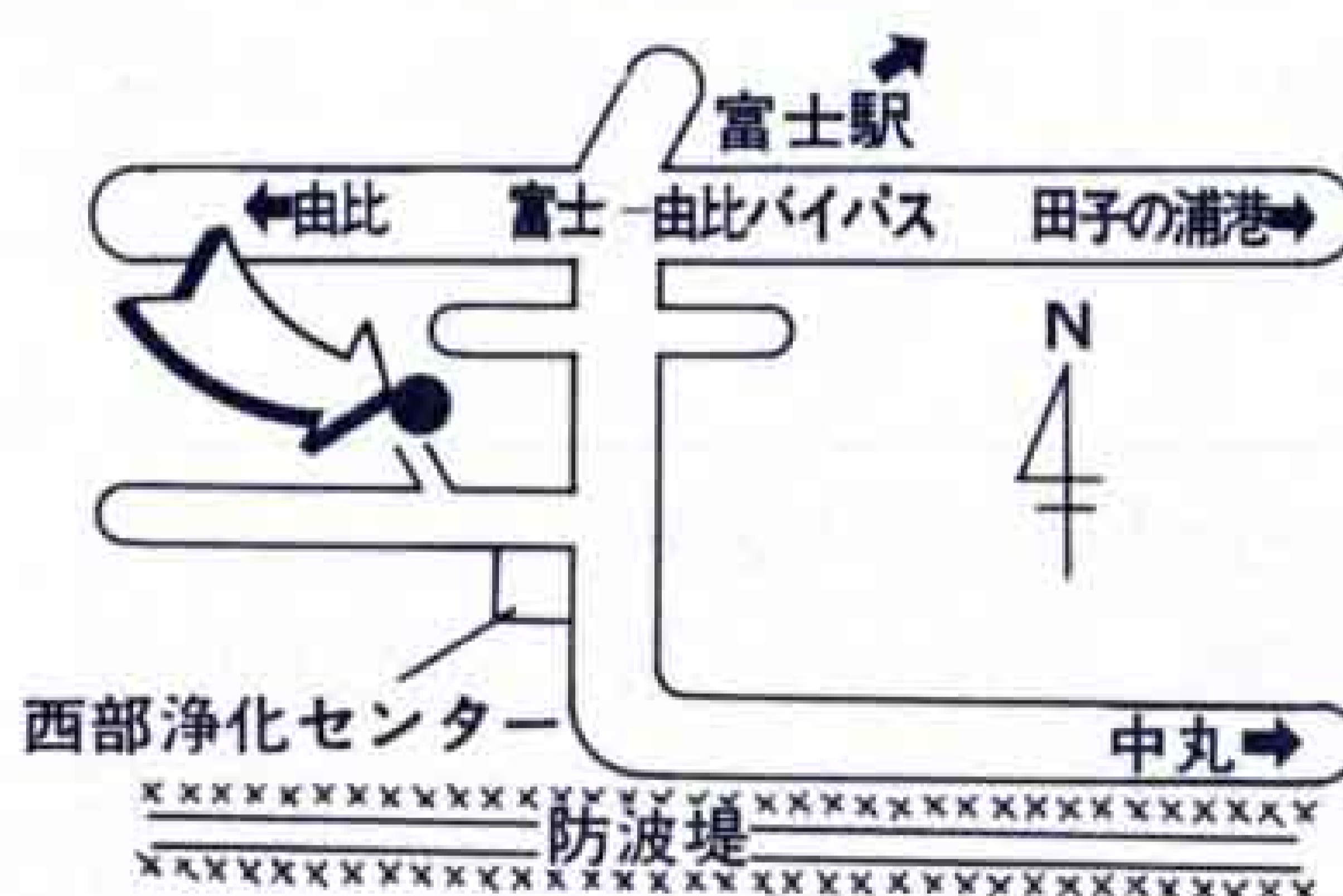
なお、田子浦荘には無料で利用できるプールがあります。夏にはご利用できます。



広見荘



田子浦荘



表紙のことば



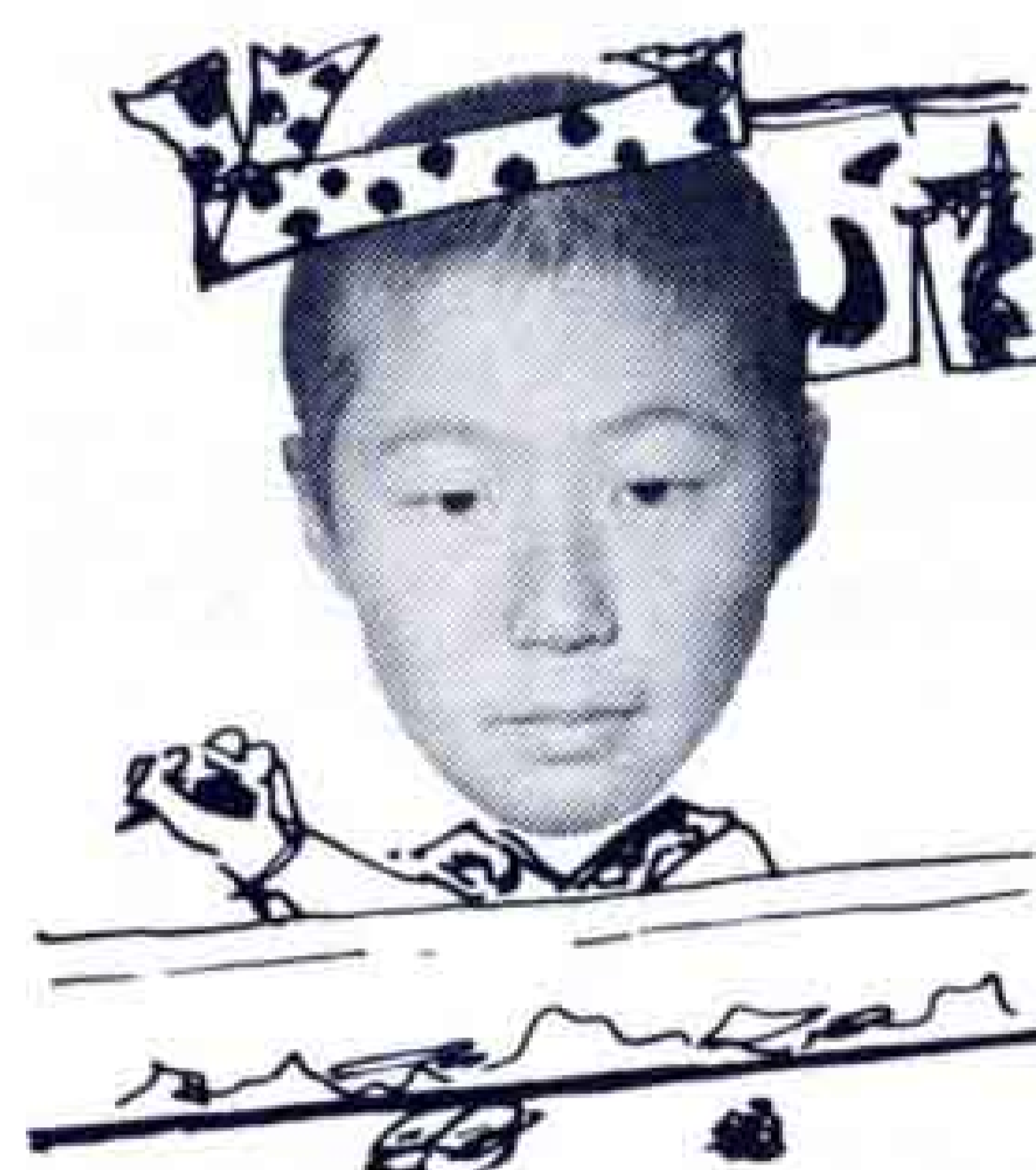
吉原2丁目
加藤茂秋さん（80歳）

「ふとん作りのコツは、綿を平均して入れることです。」と、この道50年の加藤さんは話します。明治34年11月8日生まれ。この11月に80歳の誕生日を迎えたばかり。今年の富士市技能功労者の中では、2番目の高齢です。

現在の店を昭和3年に引き継ぎ、それ以来奥さんのひろさんと、ふとん作りひと筋に生きてきました。

ぼくの夢わたしの夢

おすし屋さんになりたい

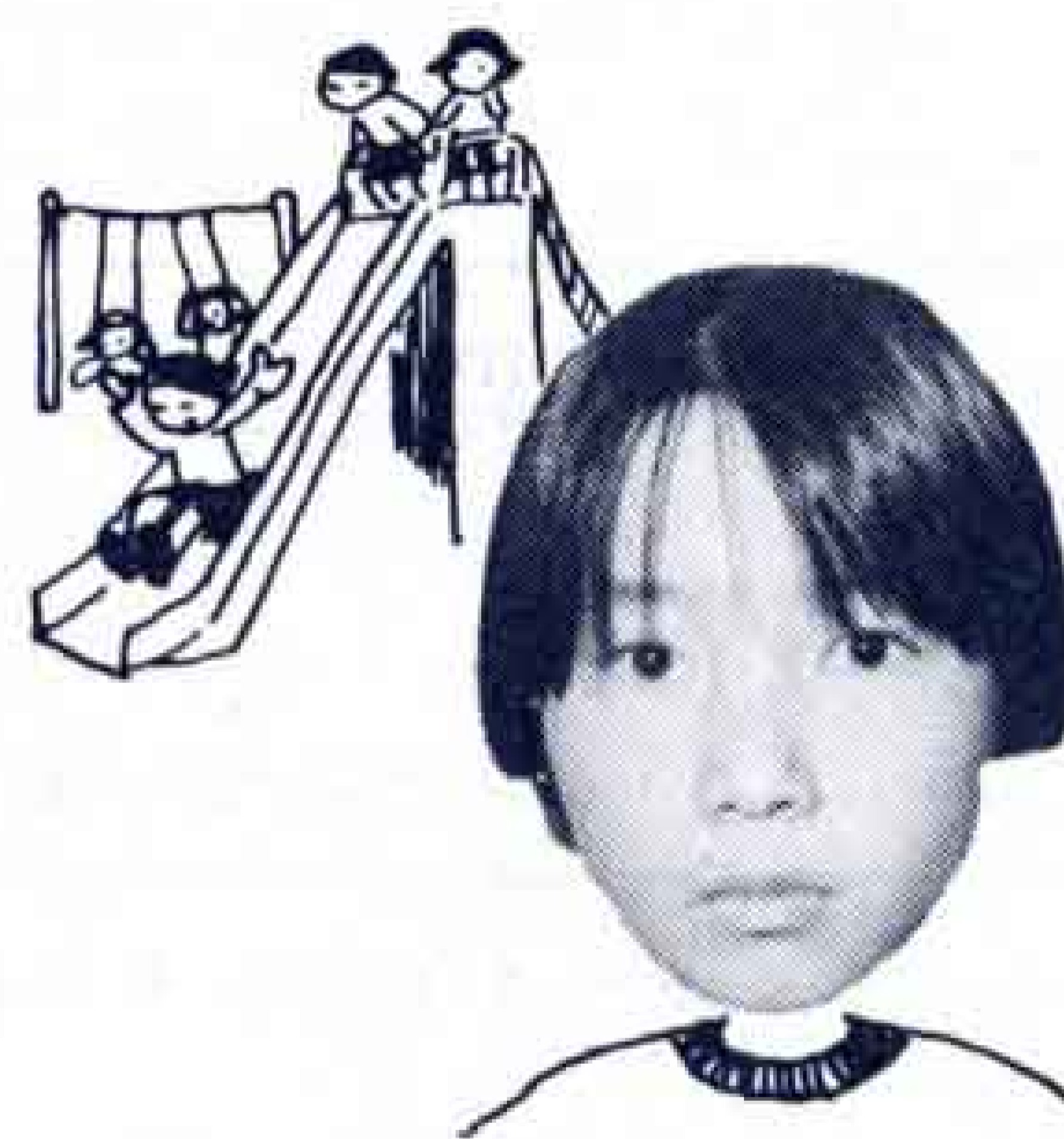


今泉小 六年
飯田康男君

ぼくの将来のゆめは、おすし屋さんになることです。なぜかという、お父さんがおすし屋さんをやっていることと、もう一つはいろいろなおすしを作りたいからです。

早く大人になってお父さんの店をつぎたいなあ。そして、クラスの友達や先生を呼んで、うでによりをかけておいしいおすしを食べさせてやりたいなあと思っています。

保母さんになりたいな



今泉小 六年
柴原千世さん

私の夢ってたくさんありますが、しょうらいは、保母さんになりたい。小さい子のあい手をしたり、いっしょに遊んだり、とっても楽しそう。

保母さんになれたら私は、やさしくて、こわくっておもしろい先生になりたいと思います。小さい子にやさしく、いたずらや悪いことをしたら、きつくしかって楽しいクラスにしたいな。そんな先生が私の夢です。